

2011年度支部総会・父母懇談会総括



後援会会長
いまむら ひろし
今村 浩
(仁美/キャリアデザイン学部)

東日本大震災、原発事故という未曾有の大災害を経ての今年の全国36支部の総会・父母懇談会でしたが、8月28日(日)の岡山、愛媛県支部を最後に無事終了いたしました。当初、被災地域についての開催は難しいのではないかと考えておりましたが、こういうときこそ、法政大学としての絆を感じてもらおうという支部の方々のご意見で、例年どおり全支部で開催することになりました。これもひとえに増田壽男総長をはじめ、理事・学部長、そして多くの大学教職員の方々のご協力ならびに支部長を

じめ支部役員の方々の皆さまのひとかたならぬご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。景気の悪化にさらに震災が拍車をかけて雇用情勢は悪化し、昨年にも増して就職状況が厳しいことを反映し、就職はもちろん、教育の質に対しても、保護者の方々は高い関心をお持ちだと感じました。

参加された保護者の皆さまには、大学職員の方々とさまざまな意見交換ができたかと思えますが、後援会本部では、皆さまからいただいたご意見も参考に、次年度も、大学関係者と話し合いを重ねながら、さらに充実した催しになるよう努力していきたいと思えます。引き続き後援会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



青森県支部



山形県支部



宮城県支部

山梨県支部 総長を囲んで



支部長
おさだ ひでかず
長田 英和
(穂波/経営学部)

7月9日(土)全国のトップを切って支部総会・父母懇談会を開催しました。当日は増田壽男総長も参加されるということで、例年以上の参加者を得ることができました。総長の講演のあと、個別懇談と並行して全体で情報交換会を開催しましたが、総長にお答えいただく場面も多く、参加者は大変満足されていたようです。今年は東日本大震災の影響で、学位授与式や入学式が中止になり、新入生や卒業生の参加者には特に印象に残る会になりました。

その後の懇親パーティーも多くの会員に参加していただき、総長はじめ大学関係者や後援会本部の方々との良い雰囲気の中で懇親を深めることができました。各学年、各テーブルごと総長を囲んで記念写真を収まり、大きな円陣を組んで校歌を歌い「子供の母校はわが母校」を実感した一日となりました。



青森県支部 懇親会にあたりミニコンサートを開催



支部長
ふじた しゅんぺい
藤田 俊一
(緒利音/現代福祉学部)

東日本大震災が未だ暗い影を落したままの今日、7月16日(土)に開催された当支部父母懇談会においては、ご不幸にして亡くなられた法政大学関係者の鎮魂のため、新たなスタートへの節目の意味でイベントを計画しました。今回は、懇親会開始にあたりミニコンサートを開催することとなり、小田和正さんの曲のカバーでは日本一の方を招きピアノの弾き語りで3曲のラブソングを歌っていただきました。17階にあるホテルのレストランから暮れゆく陸奥湾を見下ろしながら、「woh woh」で静かに曲が始まり「言葉にできない」で終了。あつという間の15分間で、一部役員を除き、詳細を知らせずに始まったサプライズコンサートに集まったご父母や法政大学からお越しになった関係者の方々も、昔を懐かしんでいるようでした。忘れかけていたぜいたくな時間を楽しみむことができた束の間でした。



福島支部 力をあわせて



支部長
わたなべ いくお
渡邊 幾夫
(興平/理工学部)

7月16日(土)、市内のグリーンパレスにて、第45回の支部総会・父母懇談会を無事開催することができました。周知のとおり、大地震と津波、そして、原発事故の3重苦を抱え開催してもよいのだろうかという意見もありましたが、私たちは、このような時だからこそ頑張つて続けようという考えになり、営々と続いた後援会活動を絶やすことなく続けることができました。少しでも多くの被災した学生に、くじけることなく学生生活を続けて、これから数十年にわたる復興の主役になって頑張ってもらおうという、私たちの思いを、会員の皆さまと十分に共有できたように感じられ、大学及び後援会の熱い思いを十分に理解していただけたように感じられました。

懇親会では、本当にうちとけた感じになり、最後は、後援会押山顧問のもと、校友連合会の方々も加わり、格調高い我が法政大学校歌を肩組み合せて斉唱し、お開きとなりました。



栃木県支部 支部総会・父母懇談会の1日



支部長
なるせ なお
成瀬 邦雄
(典雄/経済学部)

7月16日(土)に栃木県支部総会・父母懇談会が行われました。栃木県支部役員は朝9時に会場に集合し、10時過ぎには大学からは中村純常務理事をはじめ、4人の職員の方々、後援会本部からは、小池旭副会長、および掛果信樹総務さまにご来訪いただき打ち合わせを行いました。

昼からの支部総会の後、父母懇談会での中村常務理事の講演は、大学の話、総長の話(実はとても面白い方だそうです)、学生に関する話などとても興味深いものでした。語り口も独特でつい引き込まれてしまいました。そのほか職員の方々による説明会、個別相談があり、あつという間に時間は過ぎてしまいました。

最後には懇親パーティーもあり、楽しい中で一日が終わりました。関係者の皆さま本当にありがとうございました。またご出席いただいたご父母の皆さまお疲れさまでした。今後とも栃木県支部をよろしくお願いたします。



郡山支部 予想以上の参加者にホッとしました。



支部長
なかじ まさひろ
中路 正則
(貴大/スポーツ健康学部)

第45回支部総会・父母懇談会を郡山市内のホテルハマツにて役員を含め約60人の参加で開催しました。今回は、地震や放射能問題等多くの障害があり、参加者の人数も不安でしたが、予想よりも多くの参加を得てホッとしました。総会では、経過報告や決算報告、2011年の行事予定や予算の承認をいただき無事終了しました。なお、大塚顧問、佐藤副支部長、柳沼監事が退任されました。長い間ご苦労さまでした。その後には大学からは中村純常務理事、後援会から小池旭副会長を始め6人の参加を得て大学での取り組みや就職相談、成績などの個別相談が実施され参加された父母も満足した様子でした。

懇親会では、多くのお酒の差し入れで盛り上がり、郡山支部の本領が十分発揮されOB会結成の話が出るなど楽しい時間を過ごしました。



浜松支部 支部創立40周年記念講演



支部長
やまもと たけひこ
山本 武彦
(恵未/生命科学部)

7月23日(土)に浜松市中区にある「ヴィラくれたけ」において68家族87人の参加で創立40周年記念支部総会・父母懇談会が行われました。当日は本学のOBでもあるウエイトリフテイニングの三宅義行氏・宏実氏親子をお迎えし記念講演を行いました。宏実氏は人前で講演するのは初めてということでも緊張した様子でした。また、来賓として校友連合会浜松支部の皆さまや後援会静岡支部の皆さまそして歴代支部長をお招きしました。懇親会では応援にも参加してもらい楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



沖縄県支部

法政コミュニティの一員に!



支部長 富原 加奈子 (靖之/現代福祉学部)

沖縄県支部の支部総会・父母懇談会は、7月23日(土)那覇市内のホテルで開催されました。大学および後援会から児美川学部長、水品副会長をはじめ5人の皆さまにご参加いただき、会員および家族40人が参加、例年にも増して活発な会となりました。

今年に入学会がなかったこともあり、6月に開催された「新入生父母の集い」には多数の父母が参加され、大変なごやかな交流の場となり、今回もその雰囲気がつながる形での楽しい会となりました。懇親会の締めくくりには全員で輪になり、校歌を合唱。気持ちはまさに「子供の母校はわが母校」でした。児美川学部長のお話の中にもありました「法政コミュニティの一員になるべく、これからも、各地域で法政大学を支える応援部隊として、しっかりとしたネットワークづくりをしていきたい」と思います。



福岡県支部

関心の高かった2つの講演



支部長 井上 裕司 (貴成/デザイン工学部)

博多サンヒルズホテルに於いて8月21日(日)に福岡県支部総会・父母懇談会を開催いたしました。当日は竜巻でJRが不通になり心配でしたが、役員の皆さまの機敏な行動で受付、個人面談、総会等がスムーズに進行できました。父母懇談会に於いては、花泉弘情報科学部長の講演をはじめ、キャリアセンターの説明等に父母の皆さまの関心が集まりました。

また、今年は地元企業の福岡銀行人事部長本卓司部長代理(法政大学OB)に講演「就職採用状況について」をお願いし、参加者の皆さまが非常に興味深く聞き入っていました。

父母懇談会終了後、校友連合会松尾支部長はじめ来賓の方々も参加され、懇親会を開催しました。なんと、当日は後援会本部水品副会長の誕生日で会場が一段と盛り上がりしました。



石川県支部

20周年総長講演および記念講演会



支部長 野口 佳夫 (哲理/経済学部)

石川県支部では、本年20周年事業として、支部総会と併せて増田壽男総長の特別講演として「私から見た法政大学、学生、卒業生」のテーマで、大学の使命「自由と進歩」について多面的な視点で講演されました。

さらに記念講演は、法政大学OGでテレビ金沢の平見夕紀アナウンサーによる、自身の就活についての具体的な体験談として、自分に自信を常に持って就職に臨み、目標に向かって挫折しないことを述べられました。

当日は父母62人が参加され、大学の歴史と現状をしっかりと知ることが出来る有意義な交流となりました。



愛媛県支部

校友連合会との交流



支部長 伊賀上 竜也 (烈/社会学部)

本年度の支部総会・父母懇談会は大学より崎野理工学部長をはじめ後援会の池邊相談役ほか3人の方にご出席をいただいで開催いたしました。

本年度は通年よりも父母両名で参加された新入生のご両親が多く活発な意見交換が出来ました。また新たな内容として、法政大学校友連合会支部の役員の方にもご案内をして今後の後援会と校友連合会の連絡調整ができる形を構築しました。

私自身が校友連合会の会員でもあり後援会の支部長を引き受けた意味を考えて今後は両団体が各種の会合で行き来をし、卒業してから子どもたちが地元に戻って校友連合会にスムーズに溶け込めるよう頑張ってきたと思います。今後ともご指導をよろしくお願いします。



関西支部

充実した支部総会・父母懇談会



支部長 岸松 一人 (淑人/キャリアデザイン学部)

8月7日(日)、ホテルニューオータキ大阪にて関西支部総会・父母懇談会を開催いたしました。参加者72人と多数の参加をいただき、支部事業報告後、田中デザイン学部長の講演、確井学務部学務事務課長などの説明を聞き大変参考になりました。その後の情報交換会では、参加父母よりの質問などがあり有意義な時間となりました。

総会終了後の懇親パーティーでは、お互いの子どもの話で大いに盛り上がり、今年も時間を気にしながらの進行になるかと思いつながらのスタートでしたが、スケジュール通りに進行することができました。これも、ひとえに大学、事務局から参加いただいた皆さまのご協力と感謝いたします。今後は、総会時だけでなく定期的に情報発信できればと思います。



新潟県支部

さらなる連携を



支部長 須藤 浩朗 (文弥/経済学部)

8月20日(土)に万代シルパホテルにて、56組・73人の父母の皆さまの出席をいただき、支部総会・父母懇談会を無事終えることができました。雇用情勢の悪化で子どもたちを取り巻く環境は厳しい状況にもかかわらず、個別相談も就職・成績と例年以上のご相談件数がありました。特に3年生のご相談が多く、父母の皆さまの関心の高さをあらためて感じました。

今後も、大学・後援会本部・支部役員の皆さまと連携をとり、後援会の発展に努めてまいります。



臨時総会報告



後援会総務 水上新美 (康博/経営学部)

9月10日(土)、外濠校舎S306教室において、2011年法政大学後援会臨時総会が開催されました。来賓として徳安彰常務理事をお迎えし、全国から支部長をはじめ、会員の皆さまが出席されました。

まず、今村会長、徳安常務理事から、ごあいさつがありました。

続いて、奥山副会長から、今回の補正予算案について、震災で被災した学生数が、当初の想定を上回ったため、「東日本大震災学生支援費」5000万円を2000万円増額して、7000万円とした旨の説明があり、満場一致にて承認をいただきました。これにより、今回の震災で被災し、学習に困難をきたしている学生に対し、後援会として、より一層の支援を行っていきます。



後援会ホームページのご案内

URL : <http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。(6月にリニューアルしました。)

「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、アメフト甲子園ボウルや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp